



優秀賞 (居室部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

男の居場所 「蔵 Bar」

タイプ

持家一戸建

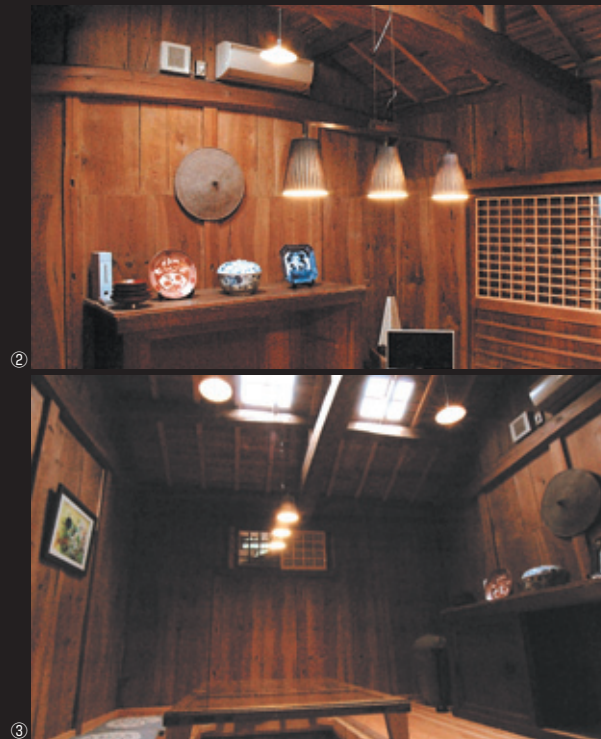
講評

並び蔵の1つを居間の延長として「蔵Bar」として活き返らせたもの。隣りには書斎があり、Studyの場と歓談の場が揃った。木の内装、やや暗めの空間、絵や器、掘り炬燵風テーブルと時を忘れさせる要素が揃っている。

施工前



施工後



門屋の遠景
「蔵 Bar」に設けたガラス瓦の採光天窗が見える



門屋
左中央の窓の位置に「蔵 Bar」が存在する

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

- 物入れと化した蔵を整理し、有効活用したい。
- (ご主人様) 教え子や友達と、心おきなくお酒を楽しめる場所にしたい。
- (奥様) 古い器などの品々を飾ったり、時折その器に料理を盛り付けて友人を招いたりしたい。
- 壁・天井は現状の木を活かす。
- 床板を30mmの杉板にし、お客様の要望で座り心地の良い掘りごたつ風に床を下げた。

- 蔵の扉は、脚を取り付け、ガラスの天板を乗せてテーブルとして再利用。柵目の部分には小さな器を入れて飾った。
- 蔵の明かり不足解消にガラス瓦の採光窓を2箇所設け、空調設備も整えた。
- 木材のぬくもりと香りが漂う中で、音楽を楽しみ、酒を酌み交わす「蔵 Bar」は、大人の遊び場として、いつも千客万来とか...

特に配慮した住宅性能:

データ		構造/築後年数		在来木		造/約100年	
所在地	奈良県生駒市	該当部分工事費	158万円	総工事費	275万円		
該当工事面積	15.21 m ²	総工事床面積	38.49 m ²				
居住者構成	15歳以上65歳未満: 2人 / 65歳以上: 人 / 15歳未満: 人 / ベット: 1						
設計者	(株)リビングショップ(Refine学園前)	担当者	吉森 泰子				
施工者	同上	担当者					

リフォーム前

リフォーム後

